

事後評価シート

県土整備部

番号	事業名 箇所名	市町村名	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象 理由	担当課
				着手	※1 再評価	完成			
1	街路事業 京町内縦線 京町工区	えびの市	延長L=400m 幅員W=14m	H26		R2	950	①	都市計画課

事後評価の結果 ※2

【事業の目的】

京町内縦線（主要地方道京町小林線）は、えびの市の西部に位置し、京町地区を東西方向に連絡する幹線道路であり、通勤・通学等の生活道路及び周辺の観光地への観光道路としての要素を併せ持っている路線である。当該工区は、道路線形が悪く幅員も狭小なため、安全で円滑な車両通行に支障を来している状況にある。さらに歩道が未整備であり、朝夕の通勤・通学時間帯には通学児童と車両交通が混在し、非常に危険な状況となっていた。

当事業は、安全で円滑な車両通行の確保及び自転車・歩行者通行の安全確保を早急に図るため道路整備を行うものである。さらに、えびの市で平成27年度から令和元年度の期間で整備を進めている都市再生整備計画事業と一体となって、京町温泉駅前の活性化を図る。

【事業効果の発現状況】

・都市計画決定に基づいた車道の拡幅と歩道空間の整備により、道路線形や県道えびの高原京町線との交差点が改善され、車両通行の安全性や利便性・快適性の向上と歩道整備により、自転車・歩行者の安全確保が図られ、交通事故も減少傾向となっている。

・えびの市都市再生整備事業と一体となって京町温泉駅周辺の道路・施設が整備されたことにより、京町温泉駅前の活性化が図られ、交通量も増加傾向となっている。

【事業による環境の変化や環境保全】

本事業は現道拡幅であり、切土等が発生していないことから、環境への影響は最小限となっている。

【施設の維持管理状況】

適正に維持管理されており、道路管理上の問題はない。

（維持管理状況）

R3交通センサス：2,086台/日

道路巡視（基準）：5回/週

道路巡視（実施）：5回/週

【今後の事業評価の必要性】

今回の事後評価より、所定の効果を発現していることがわかるため、さらなる事後評価の必要性はない。

【改善措置の必要性】

当該区間の整備により、走行性の向上及び安全・安心な交通の確保等について十分な効果が得られており、今後の改善措置の必要性はない。

【同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性】

特になし。

総合評価	特記事項
事業効果が認められる。	特になし。

（対象理由）

①全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業

②再度、事後評価の必要があると判断した事業

※1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。

※2 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。